# 学科参考資料（対象７級～有段）

## 1 少林寺拳法の目指す人間像

修行により少林寺拳法が上達することで、自分に自信が持て、周りの事をよく考えて行動できる人になれます。

1、自分の可能性を信じることが出来る人

自分がやってみたいことにはどんどんチャレンジしましょう。正しい目標を持つことで、困ったことや苦しいことを乗り越えて、努力ができる人の事です。

2、自分の考えをはっきり言えて行動できる人

自分の行動には責任を持つことが大切です。良くなかったことは素直に謝り、他人のせいにしない人になりましょう。

3、他人の幸せを考えて行動できる人

周りの事を気遣い、困っている人に自分ができることを自然にしてあげられる人の事です。

4、正義感と勇気と慈悲心（思いやり）を持って行動できる人

悪(わるい)いことに怒(いか)りを感(かん)じる気(きも)持(も)ちを持ち、それを正(ただ)しい方向(ほうこう)に向(む)かわせる勇気(ゆうき)を行動(こうどう)に出(だ)せる人(ひと)。

5、みんなとともに理解(りかい)し協力(きょうりょく)し合(あ)う生(い)き方(かた)ができる人(ひと)

他人(たにん)の意見(いけん)を尊重(そんちょう)し、お互(たが)いに理解(りかい)をすることで、協力(きょうりょく)して問題(もんだい)を解決(かいけつ)できる人(ひと)になりましょう。

# まとめ

少林寺拳法は人づくりの行です。人間は決して争うために生まれてきたのではありません。助け合うために生まれてきたのです。少林寺拳法の思想は**調和**です。立場や考えが異なる人同士でも、調和の心を持っていれば必ず分かり合えるものです。相対演練を通じて、身近な所から調和の輪を作りましょう。